

「当院における炎症性腸疾患患者に併存した呼吸器疾患の臨床的検討」の研究について

1. 研究の対象

2012年1月1日から2021年12月31日までの間に当院で呼吸器内科に肺癌治療のため入院となった患者さん

2. 研究目的・方法

腸に炎症や潰瘍を生じる炎症性腸疾患(IBD)は近年増加傾向ですが、経過中に全身の臓器に腸管外合併症を発症することが知られています。どのような症状がでるかは様々であり、詳細については未だ不明な点も多いのが実情です。腸管外合併症として頻度の高い臓器は関節、皮膚、眼などが挙げられ、膵臓や肺については稀ですが、起こった場合は重篤化することもあり重要な合併臓器と考えられます。また、腸内に存在する細菌の分布(腸管細菌叢)の変化が起こると、空気の通り道である気道にいる微生物の分布(気道微生物叢)にも影響を及ぼし、呼吸器疾患を発症する腸肺軸(Gut-Lung axis)という概念も近年研究されてきています。免疫反応による腸管と気管支への関与が原因ではないかとされていますが、その他の呼吸器疾患についての報告は少なく、その病態については未だ詳しく分かっていないことが多く残っています。

今回の研究では、当院の過去の電子カルテ情報を解析し、炎症性腸疾患にかかっている患者さんの呼吸器疾患の内容を検討し、関係性や病態について調査します。

研究期間は病院長許可日から2023年12月31日までです。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：病歴、性別、年齢、身長、体重、BMI、喫煙歴、アレルギー歴、整腸剤使用の有無、合併する呼吸器疾患の内訳、IBDの病勢悪化の有無、IBDの内訳

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

静岡県磐田市大久保 512-3 磐田市立総合病院

研究責任者 呼吸器内科 原田 雅教

電話：0538-38-5000